

関係各位

令和2年3月6日

第49回特別企画展 開館・開設10周年記念  
一支国博物館・長崎県埋蔵文化財センター

# 収蔵品展

かんたん  
解説つき!!

～学芸員・研究員のおススメ逸品!～  
開催のお知らせ

壱岐市立 一支国博物館

一支国博物館では、来る令和2年3月14日(土)から5月10日(日)まで、第49回特別企画展 開館・開設10周年記念「一支国博物館・長崎県埋蔵文化財センター 収蔵品展 ～学芸員・研究員のおススメ逸品!～」を開催いたします。

当企画展は、同じ屋根の下で働く壱岐市教育委員会、長崎県埋蔵文化財センター、一支国博物館が、初めて共同で開催します。壱岐島の歴史や自然、保存科学などに日々向き合っている学芸員・研究員は、多面的に壱岐島を知り尽くしたプロフェッショナルです。それぞれの専門家たちが、収蔵品(寄贈、寄託、常設展示中含む)の中から、「これぞおススメ!」という逸品に注目し、くわしく解説していきます。解説文は、子どもでも楽しく学べ、大人の方も満足いただけるよう、簡単なものと専門的なものの2種をご用意します。弥生時代、古墳時代、中世、近世、自然科学、保存科学のテーマを通じて、壱岐の新たな魅力を再発見する企画展です。

つきましては、別紙のとおり、開催概要をお知らせ致しますので、ご周知方よろしく願い申し上げます。

催 事／第49回特別企画展 開館・開設10周年記念  
「一支国博物館・長崎県埋蔵文化財センター 収蔵品展  
～学芸員・研究員のおススメ逸品!～」

会 期／令和2年3月14日(土)～5月10日(日)

場 所／一支国博物館 1階 テーマ展示室

時 間／8:45～17:30(最終入館17:00)

休館日／毎週月曜日(GW期間中は無休)

展示品数／約80点

観覧料／無料

主 催／壱岐市立一支国博物館

共 催／壱岐市教育委員会、長崎県埋蔵文化財センター

後 援／壱岐市、壱岐市観光連盟

令和2年3月1日発行  
の当館広報誌『一支博  
ニュース』に掲載した第  
49回特別企画展の会期  
を、上記のとおり変更さ  
せていただきます

主な展示品につきましては、  
別添資料をご確認ください。

人面石  
[国指定重要文化財]

## 主な展示品

### 弥生時代

#### 原の辻遺跡重要文化財

国指定特別史跡 原の辻遺跡は、一支国博物館にもほど近く、島の南東部に位置する大規模な環濠集落。東アジア最古の船着き場をはじめ、住居跡や祭儀場跡、環濠、交易・交流を示す豊富な遺物などが発見されたことから、一支国の王都と特定されている。

**国指定重要文化財 人面石** (国指定特別史跡 原の辻遺跡出土)

人の顔を模してつくられており、先祖の霊を鎮める儀式のときに用いられた祭器だったのではないかと考えられている。



人面石  
[国指定重要文化財]

### 古墳時代

#### 沓崎古墳群の重要文化財



金銅製 亀形飾金具  
[国指定重要文化財]

沓崎古墳群とは、長崎県内最大の前方後円墳を含む、6世紀後半から7世紀にかけて相次いで築造された6基の大型古墳からなる国指定史跡。当時の列島内における政治動向のみならず、東アジア世界との交流の在り方を知ることができる。

①対馬塚古墳、②双六古墳 (長崎県最大の前方後円墳)、③笹塚古墳、④兵瀬古墳、⑤掛木古墳、⑥鬼の窟古墳。

**国指定重要文化財 金銅製亀形飾金具**

(国指定史跡 笹塚古墳出土)

扁平な亀形の馬具。精巧な意匠は、当時の金工技術の水準を知る上で学術的にも貴重。沓崎を治めた首長と思われる人物の墓に副葬されていた。

### 中世～

#### 朝鮮通信使迎在所絵図

朝鮮通信使は、朝鮮国王が徳川将軍家の代替りごとの慶賀に派遣した外交使節団。2017年10月、日韓の民間団体の共同申請による

「朝鮮通信使に関する記録」が、ユネスコの「世界の記憶 (世界記憶遺産)」に登録された。

通信使の一行は、沓崎・勝本浦に建設された2500坪の大宿舎 (朝鮮通信使迎在所) に寄宿したとされ、勝本浦には、往路11回、帰路8回入港している。

**朝鮮通信使迎在所絵図** 使節団をもてなすため、平戸の松浦家が建てた迎在所に関する絵図。建物の位置とそれぞれの部屋の役割が記されている。



朝鮮通信使迎在所絵図

### 自然科学

#### 六郎瀬鼻出土ステゴドン象化石



六郎瀬鼻出土ステゴドン象化石  
[長崎県天然記念物][市指定文化財]

ステゴドン象は、約1200万年前から約100万年前にかけて東アジアおよびアフリカに生息していた大型の象で、絶滅したマンモスや現在の象の祖先とされる。

**六郎瀬鼻出土ステゴドン象化石**

1971年、沓崎の西部に位置する六郎瀬鼻地層から発見。象牙、臼歯、ろっ骨など多くの化石が掘りだされ、2頭以上の化石が含まれることがわかった。牙の大きさから、肩の高さが4mほどもあると思われる。当時の日本列島が大陸と陸続きであったことを証明する貴重な資料である。

# 収蔵品展

第49回特別企画展 開館・開設10周年記念  
一支国博物館・長崎県埋蔵文化財センター

学芸員・研究員のおススメ逸品！

## 主なテーマと展示品

### 弥生時代

原の辻遺跡重要文化財  
カラカミ遺跡の新発見  
第三の弥生集落 車出遺跡  
一支国と鉄

### 古墳時代

沓崎古墳群の重要文化財

### 中世～

郷ノ浦平人触の古銭壺  
聖母宮の茶壺  
安国寺高麗版大般若經  
朝鮮通信使迎在所絵図

### 近世

沓崎名勝図誌

### 自然科学

六郎瀬鼻出土  
ステゴドン象化石  
ほか

### 保存科学

考古学と科学

## このリリースに関するお問い合わせ

配信停止などご要望がございましたら、お知らせ下さい。

沓崎市立一支国博物館 担当：広報 松嶋

〒811-5322  
長崎県沓崎市芦辺町深江鶴亀触 515 番地 1  
TEL : 0920-45-2731 FAX : 0920-45-2749  
m.matsushima@iki-haku.jp

令和2年3月22日(日)に予定しておりました企画展関連“特別”特別講座「通史で見る日本と周辺諸国のなかの沓崎」は、新型コロナウイルスの感染拡大に備え、中止とさせていただきます。